

平成 28 年度  
認知症サポーター優良活動事例と  
サポーター講座展開優良事例 表彰団体

1. 自治体等認知症サポーターの活動事例

- ①じょいふるカフェ会  
(神奈川県相模原市)      キャラバン・メイト活動から発展した  
認知症の人とサポーターの交流活動  
～オレンジカフェから農園まで
- ②福岡市 南区 弥永小学校区住民  
ほっとかれん隊      認知症の方とその家族が安心して  
(福岡県福岡市)      情報公開でき暮らせるまち

2. 企業・職域団体における認知症サポーターの活動事例

- ①座間市消防本部・消防署      消防活動から得た認知症対応の心得を地域へ  
～ヘルパーとも協力して
- ②京都府警察本部      警察が推進する認知症高齢者を  
行方不明者にしない地域づくり

3. キャラバン・メイトの創意工夫によるサポーター講座展開事例

- ①北海道清水町      多職種メイトの連携で展開する 10 時間の  
鈴木 康功      福祉授業カリキュラム  
(北海道清水町)      ～認知症を知り福祉を考える小学生を育てる

特別賞 企業・職域団体における認知症サポーターの活動事例

- ①株式会社 イトーヨーカ堂      実行性・継続性ある地域と店舗の連携体制

## 選考評価のチェックポイント

### ●「自治体等認知症サポーターの活動事例」

- ①多職種のメンバーで構成され、各サポーターの属性、特色を生かしているか。[多職種構成]
- ②自治体等地域の関係機関との連携が図れているか。[連携]
- ③地域の実情に応じた工夫がなされているか。[工夫]
- ④地域における認知症の人・その家族が活用しやすい機能を備えているか。[活用のしやすさ]
- ⑤活動地域で受け入れられ、評価されるべき活動実績があるか。[活動実績]

### ●「企業・職域団体における認知症サポーターの活動事例」

- ①自治体等地域の関係機関との連携が図れているか。[連携]
- ②業務の特徴に応じた工夫がなされているか。[工夫]
- ③活動地域で受け入れられ、評価されるべき活動実績があるか。[活動実績]

### ●「キャラバン・メイトの創意工夫によるサポーター講座展開事例」

- ①認知症の基礎知識の内容（標準教材に沿った内容）がしっかり押さえられているか。[基本]
- ②講座の組み立て方に工夫があるか。[工夫]  
(受講者を飽きさせない、対象者に応じて興味をもてるように 等)
- ③認知症の症状や対応のポイントについて、わかりやすく伝えているか、誤解を招く表現などがないか。  
認知症の人の行動で笑いをとるような表現はないか。[表現]
- ④認知症について暗いイメージ、悲惨さを伴う表現に偏っていないか。[悲惨さへの偏り]

# 平成 28 年度 認知症サポーター優良活動事例と サポーター講座展開事例 選考委員会

## 選考委員

50音順

委員	浦上 克哉	(鳥取大学医学部保健学科教授)
委員	大森 彌	(東京大学名誉教授)
委員	亀井 利克	(三重県名張市市長)
委員	斎藤 正彦	(東京都立松沢病院院長)
委員	鳥海 房枝	(特定非営利活動法人メイアイヘルプユー事務局長)
委員	玉井 顯	(敦賀温泉病院理事長・院長)
委員	古川 貞二郎	(恩賜財団 母子愛育会理事長)
委員	堀田 力	(公益財団法人さわやか福祉財団会長)
委員	森 貞述	(前愛知県高浜市市長)
委員	山崎 史郎	(NPO 法人地域ケア政策ネットワーク総括研究主幹)
委員	菅原 弘子	(全国キャラバン・メイト連絡協議会 /NPO 法人地域ケア政策ネットワーク事務局長)
オブザーバー	川島 英紀	(厚生労働省老健局総務課 認知症施策推進室 室長補佐)